

国語学習プリント

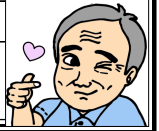
date : 年 月 日

学習内容:

初恋

氏名

年 組 番



初恋

島崎 藤村

まだあげ初めし前髪（そ）の
 林檎（りんご）のもとに見えしとき
 前にさしたる花櫛（はなぐし）の
 花ある君と思ひけり
 やさしく白き手をのべて
 林檎をわれにあたへしは
 薄紅（うすぐれいざな）の秋の実に
 人こひ初めしはじめなり
 わがころなきためいきの
 その髪の毛にかかるとき
 たのしき恋の盃（さかづき）を
 君が情（なさけ）に酌（く）みしかな
 林檎（りんご）島の樹（ばたけ）の下に
 おのづからなる細道は
 誰が踏みそめしかたみぞと
 問ひたまふこそこひしけれ

◎この詩の形式は

文語定型詩（七五調） 四連構成

▽まだあげ初めし前髪とは

結びあげたばかりの髪

少女から娘となつて

大人っぽくなった初々しい様子

①

当時（明治のころ）女子は十三〜十五歳になると髪あげ（髪結い）をして、大人の女性となる成人式のような儀式 男子でいうところのは元服にあたるもの

▽花櫛とは

花のような飾りをほどこした髪飾り
 花かんざし

▽花ある君とは

花のように美しい

▽薄紅の秋の実とは

①何のこと 林檎

②どんなイメージのつながりがあるか

初々しき まだ青みが残る未熟さ
 すっぱさ 新鮮さ など

▽ころなきためいきとあるが、この場合の「ころなき」とはどのような意味か
思わずついたため息

▽たのしき恋の盃を／君が情に酌みしかなとは、恋の状況を何の様子にかけて表現しているか

酒祝い酒晩酌 酔う（恋に酔う）など
 恋の様子を酒に酔う様子にかけた

▽おのづからなるとはどういう意味か
自然にできた いつのまにかできた

おのづ＝自ず

▽誰が踏みそめしかたみとは
訳してみよう

※「かたみ」とはなにかを想像するとわかるよ

かたみ＝なごり（あとにのこされたもの）
 誰が踏みはじめてできたあと（痕跡）

▽係り結びをひきおこす助詞と、それをうけ、変化した語を書きなさい。

ひきおこした助詞 こそ

変化した語 こそひしけれ

（形容詞「こひし」の已然形）

▽詩の構成連の内容を選べ

第一連（エ）

第二連（イ）

第三連（ア）

第四連（ウ）

ア二人の恋が通じ合った喜び
 イ少女に対する恋心の芽生え
 ウ二人の愛とその深さの証明
 エ少女との出会いとその印象